

# 予 算 要 求 資 料

令和8年度当初予算

支出科目 款：衛生費 項：医務費 目：医務費

## 事業名 在宅医療推進センター運営事業費補助金

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

健康福祉部 医療福祉連携推進課 在宅医療福祉係 電話番号：058-272-1111(内3283)

E-mail：c11230@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 10,196 千円 (前年度予算額： 10,196 千円)

### <財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	10,196	0	0	0	0	0	10,196	0	0
要求額	10,196	0	0	0	0	0	10,196	0	0
決定額	10,196	0	0	0	0	0	10,196	0	0

## 2 要 求 内 容

### (1) 要求の趣旨(現状と課題)

近年ますます高齢化が進んでおり、長期にわたる介護を必要とする患者が今後増加すると考えられる。

治療や療養を必要とする患者が、通院困難な状態であっても、居宅等の生活の場で必要な医療が受けられるように訪問診療等を行う医療機関の増加等の医療提供体制づくりが必要である。

最後まで居宅等で暮らしたいと希望する患者に対し、医療と介護サービスが連携して提供される体制づくりが必要である。

### (2) 事業内容

#### ○在宅医療推進センター運営事業

県内の全ての地域における在宅医療の充実に向けて、以下の事業を実施する。

- ・圏域単位の在宅医療介護連携推進連絡協議会の開催
- ・コーディネーターの意見交流、人材育成
- ・各地域の必要な連携を担う拠点(市町村)や積極的役割を担う医療機関に対する運営支援
- ・多職種連携を促進するための研修会等による人材育成
- ・全県レベルでの在宅医療の普及啓発

### (3) 県負担・補助率の考え方

- ・第8期岐阜県保健医療計画において在宅医療提供体制を整備することとしている。

### (4) 類似事業の有無

無

## 3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
補助金	10,196	人件費、講師謝金、旅費、会議費 他
合計	10,196	

## 決定額の考え方

## 4 参考事項

### (1) 各種計画での位置づけ

第8期保健医療計画 在宅医療対策に位置付けられている。

「夜間を含めた24時間対応の在宅医療を提供し、患者の急性増悪にも対応できるよう、在宅医療を実施する医療機関同士の連携や訪問看護ステーションとの連携を支援します。また、在宅医療連携の必要性を学ぶ研修会を実施する等、在宅医療、訪問看護等の連携強化及び在宅医療連携を担う地域人材の育成を図ります。」

「在宅医療において積極的役割を担う医療機関」及び「在宅医療に必要な連携を担う拠点」を位置付け、在宅医療の4つの機能（退院支援、日常の療養支援、急変時の対応、看取り）の整備を推進します。」

### (2) 国・他県の状況

- ・医療介護総合確保推進法に基づく県計画として、国の承認を得る予定。

### (3) 後年度の財政負担

- ・医療介護総合確保推進法に基づく県計画として計上し、実施していく。

### (4) 事業主体及びその妥当性

・在宅医療を推進する連携体制を構築するため、医師により組織される岐阜県医師会の業務を支援する。

# 事業評価調書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

## 1 事業の目標と成果

### （事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか  
訪問診療を実施する医療機関数を増加させる。

### （目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R6)	R6年度 実績	R7年度 目標	R8年度 目標	終期目標 (R9)	達成率
①訪問診療を実施する医療機関数	506	/	569	601	631	94%

○指標を設定することができない場合の理由

### （これまでの取組内容と成果）

令和4年度	<p>・取組内容と成果を記載してください。</p> <p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %</p>
令和5年度	<p>・取組内容と成果を記載してください。</p> <p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %</p>
令和6年度	<p>・取組内容と成果を記載してください。</p> <p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %</p>

## 2 事業の評価と課題

### (事業の評価)

<p>・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3:増加している 2:横ばい 1:減少している 0:ほとんどない</p>	
(評価)	<p>3 高齢化の進行による療養を必要とする者の増加に備え、在宅医療の提供体制の構築・強化が必要である。</p>
<p>・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3:期待以上の成果あり 2:期待どおりの成果あり 1:期待どおりの成果が得られていない 0:ほとんど成果が得られていない</p>	
(評価)	
<p>・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2:上がっている 1:横ばい 0:下がっている</p>	
(評価)	

### (今後の課題)

<p>・事業が直面する課題や改善が必要な事項</p>
----------------------------

### (次年度の方向性)

<p>・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか</p>
---

### (他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

<p>組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課</p>	
<p>組み合わせる理由や期待する効果 など</p>	